

愛

整

広

報



Jul.2026

令和8年7月

第90刊 通刊130号

公益社団法人愛知県柔道整復師会

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

1. 柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
2. 日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
3. 相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
4. 学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
5. 業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

昭和 62 年 6 月 14 日制定



巻頭言	副会長 石川 益郎	3
PHOTO GALLERY		4

部会・委員会だより		
総務部	部長 松田 吉弘	5
経理部	部長 河合 修宏	5
保険部	部長 中野 一弥	6
学術部	部長 西村 武蔵	6
広報部	部長 岡田 忠士	7
事業部	部長 齋藤 禎久	7
支部長あいさつ		8

行 事	
柔道整復療養費取扱い研修会	11
連盟総会	12
第37回機能訓練指導員実務研修会 第21回機能訓練指導員フォローアップ講習会 第103回会員研修会・第21回県民公開講座	13
第35回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会 第15回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年柔道「形」競技会	14
愛知県柔道整復師会定時総会 愛知県接骨師会共済会総会	16
新入会員・準会員紹介	18

ふれあいの広場		
田原市博物館を訪ねて	鶴舞支部広報担当 山本 篤	19
奈良・桜井・箸墓古墳に眠る姫	鶴舞支部 嶋田 篤司	20
春のツーリング	笠寺支部 矢野 康治	20
草野球	大曾根支部 梅野 寛亨	22
豊國神社・中村公園	中村支部広報担当 半谷 和男	22
ン十年ぶりの久屋大通公園	熱田支部広報担当 山守 貴英	23
那須塩原を観光して	一宮支部 川島 秀司	24
歴史ある洋館で祝う新しい門出	一宮支部 大塚 英洋	25
愛岐トンネル群を散策	半田支部広報担当 西松 信明	26
あしかがフラワーパーク	豊橋支部広報担当 伊藤 智章	26

わが町

おおぶ桜ハナモモ花めぐりウォークラリーに参加	半田支部広報担当 西松 信明	28
知立祭り	刈谷支部広報担当 國領 雄一	29

支部だより

鶴 舞 令和8年度支部総会、情報交換会	山本 篤	30
笠 寺 令和8年度支部総会・学術研修会・情報交換会	近藤 啓介	30
一 宮 一宮市バレーボール大会救護	石塚 豊	31
一 宮 令和8年度支部総会、学術研修会	五藤 久貴	31
岡 崎 柔道の稽古	支部広報担当 樋渡 啓祐	32

介護ステーションだより

管理者 平岩 治郎	33
-----------	----

介護予防ステーションだより

介護部長 倉橋 健司	33
------------	----

協同組合だより

副理事長 櫻木 哲也	34
------------	----

編集後記	35
投稿規定	36

表紙写真	大曾根支部広報担当 上田 将
裏表紙写真	刈谷支部広報担当 國領 雄一



副会長
石川 益郎

会員の皆様におかれましては、平素より本会事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

近年、柔道整復業界を取り巻く環境は大きく変化しており、少子高齢化の進行による人口構造の変化に加え、医療・介護ニーズの多様化、物価や光熱費の上昇や人材不足など、地域医療を支える現場にはこれまで以上に柔軟な対応が求められています。また、デジタル化の進展や制度改正への対応など、私たちを取り巻く社会環境も大きな転換期を迎えています。さらに世界情勢に目を向けますと、アメリカとイランを巡る緊張や、パルシヤ湾周辺の不安定化など、国際社会に大きな影響を与える問題が続いており、こうした国際的な緊張はエネルギー価格や物流、物価高騰などを通じて、私たちの日常生活や地域経済にも影響を及ぼしております。

また、医療費適正化に対する社会的関心の高まりや、施術の透明性・説明責任への意識の向上に伴い、柔道整復師に対してもこれまで以上に高い倫理観と信頼性が求められる時代となっております。国民の健康意識が高まる一方で、施術所には安全性や専門性、地域との連携など、より質の高い対応が期待されています。そのような中、地域包括ケアシステムの推進に伴い、柔道整復師が地域医療・介護分野において果たす役割もさらに重要となっており、名古屋市における「短期集中予防型訪問サービス」など、介護予防・自立支援を目的とした取り組みは、今後ますます必

要性が高まるものと考えられます。本会といたしましても、こうした取り組みを、名古屋市のみならず県内各市町へ広く推進できるよう、関係機関との連携強化や情報提供に努め、柔道整復師がこれまで以上に介護業界の一翼を担える環境整備に努力してまいります。

本年7月より柔道整復療養費の料金改定が開始されるにあたり、会員の皆様におかれましては特に関心の高い事項であると存じます。本会といたしましては、引き続き制度改定に関する正確な情報提供と円滑な対応支援に努めるとともに、柔道整復師の適正な評価と健全な制度運営につながるよう取り組んでまいります。さらに、本年9月下旬開催の「アジア競技大会」、ならびに10月中旬開催の「アジアパラ競技大会」において、柔道競技のトレーナー活動にご参加いただく会員の皆様に、心より感謝申し上げます。柔道整復師が長年培ってきた外傷対応や身体機能管理の知識と技術は、競技スポーツの現場においても大きな役割を果たすものであり、本会としてもスポーツ医科学分野へのさらなる貢献を積極的に推進してまいります。

柔道整復師の未来は、会員一人ひとりの力と協力によって築かれるものです。今後とも公益性を重視しながら、地域医療への貢献と業界発展のため、役員一同、なお一層努力してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

PHOTO GALLERY



長寿会員

喜寿会員

新入会員

愛知県柔道整復師会定時総会・愛知県接骨師会共済会総会 令和8年5月24日



愛知県柔道整復師会定時総会



石井 雄介外部理事



遠山 典志外部監事



第35回少年少女柔道大会 第15回少年柔道「形」競技会



全国大会代表選手



東海大会女子3人戦代表選手



「形」競技会愛知県代表選手

部会・委員会だより

総務部



部長
松田 吉弘

近年、本会では会員数の減少が続いており、それに伴う会費収入の減少は深刻な課題となっています。公益社団法人としての事業を将来にわたり安定して継続するためには、会員基盤の維持・拡大が不可欠であり、今まさに組織全体で取り組むべき重要な局面を迎えています。

こうした状況を踏まえ、本会では将来の開業を目指す勤務柔道整復師等を対象とした「準会員制度」を創設いたしました。しかし、この制度は将来を見据えた取り組みであり、短期間で会員数の増加につながるものではありません。そこで会員の皆様にお願ひがあります。勤務先やお知り合いの柔道整復師の中に、今後開業を予定している方や開業を検討されている方がおみえでしたら、ぜひ本会をご紹介ください。本会の活動や魅力についてご紹介いただき、一人でも多くの仲間を迎え入れることが、本会の発展と柔道整復業界の未来につながります。

会員減少という課題は、役員だけで解決できるものではありません。会員の皆様お一人おひとりのお力添えが、本会の未来を支える大きな力となります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経理部



部長
河合 修宏

日頃は、愛整会経理部の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。令和8年度を迎えるにあたり、本会の財政概況につきましてご報告申し上げます。

令和7年度正味財産増減計算書におきましては、経常収益合計に対する経常費用合計（年度収支）はプラスとなりました。主な要因といたしましては、介護保険活動収入および介護予防活動収入の増加に加え、各種経費削減策の実施による管理費の減少が挙げられます。

一方で、受取会費につきましては、年々減少傾向が続いており、残念ながら下げ止まりには至っておりません。最も多かった時期と比較すると、現在では約4分の1程度の水準となっております。フクシマガリレイ株式会社からの受取賃借料を加算しても、財政状況は依然として大変厳しい状況にあります。

また、会員各位におかれましても、療養費取扱金額の減少など厳しい経営環境に直面されていることから、本会として現時点で会費値上げは考えておりません。しかしながら、今後の財政運営におきましては、更なる経費削減を進める中で、従前は本会にて負担しておりました会員宛郵送費や東海ブロック会費等につきまして、会員の皆様へご負担をお願いせざるを得ない場合も想定されます。

会員の皆様におかれましては、本会の現状をご理解いただき、引き続きご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

保険部



部長
中野 一弥

令和 8 年料金改定に伴う 新申請書印字設定のご確認について

会員の皆様におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は柔道整復療養費取扱いにご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和 8 年料金改定に伴い、柔道整復療養費支給申請書の内容が変更となりました。申請書の内容変更の際には、従来から印字設定の切り替え忘れによる印字位置のズレや記載内容の不備が多く見受けられますが、申請書を作成する際は、現在使用している申請書に対応した印字設定となっているか、今一度ご確認いただきますようお願いいたします。

特に今回の料金改定では、申請書の明細欄に大幅な変更が加えられており、保険者が印字ズレに対応できないケースも想定されます。請求誤りや返戻の防止のためにも、改定内容および記載方法を十分ご確認のうえ、適切な請求事務にご対応くださいますようお願いいたします。

円滑な請求業務の実施に向け、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

学術部



部長
西村 武蔵

平素は学術部の活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

現在、学術部員 2 名、学術委員 2 名、「匠の技」指導者候補 3 名、また、各支部学術担当者の皆様方にもご尽力をいただき、学会関係、「匠の技」関係を運営しております。

令和 8 年度は、4 月 2 日（木）に日本柔道整復師会学術部長会議が Web にて開催され、「匠の技」指導者講習会として、9 月 6 日（日）、12 月 6 日（日）、来年 2 月 7 日（日）の計画となっています。今年度の対面式での「匠の技」会員向け技術講習会は 8 月 23 日（日）に愛整会館 3 階講堂にて開催します。

また、6 月 11 日（木）に支部学術担当者会議を開催、7 月 5 日（日）は第 61 回愛知県柔道整復学会・第 104 回会員研修会を開催、10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日）には第 59 回日本柔道整復師会東海学術大会岐阜大会の開催となっております。

日本柔道整復師会は、「匠の技 伝承」プロジェクトにおいて、施術の平準化（全国どこでも患者が日整水準の安全かつ高品質な施術を受けられるようにする取り組み）を目指して活動しており、今後本会も学術活動において施術の標準化を進めてまいりますので、引き続き会員の皆様方のご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

広報部



部長
岡田 忠士

広報部長 2 期日も 1 年が過ぎ、折り返しとなりました。今年度も室谷 勉部員、山守 貴英部員と共に、広報活動に尽力してまいります。

愛整広報も今号で第 90 刊（通刊 130 号）となりました。「広報愛整」が創刊（年 2 回発行）されたのは、昭和 56 年 10 月。「会報」発行から 13 年を経て、第 1 刊（通刊 41 号）が発行されました。私は、平成 29 年 7 月第 72 刊（通刊 112 号）から広報部員として関わり始め今に至っています。

会員の皆様には今後とも、愛整広報の「ふれあいの広場」「わが町」「支部だより」への投稿をよろしくお願いいたします。原稿は各支部の広報担当者へ提出していただければ、広報部にて校正、編集してまいります。

原稿募集要項につきましては、愛整広報巻末に記載してありますので、お目通しいただければ幸いです。各支部広報担当者の皆様、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

事業部



部長
齋藤 慎久

新年度に入り、本会会員の皆様には事業部の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

現在事業部は私、鈴木 俊彦部員（大曽根）・橋本 義弘部員（大曽根）と各支部事業担当者で活動を行っております。

昨年度の主な活動として、全日本マスターズハンドボール大会救護、日本赤十字社街頭募金活動、愛知県・田原市防災訓練などへ参加しました。

その中から全日本マスターズハンドボール大会の救護活動について紹介させていただきます。事業部としては長年にわたりこの大会の救護活動に参加しております。昨年度は豊田市内の二会場に 600 名以上の選手が集まり試合が行われました。

本会からは 9 名の会員、現場実習として米田柔整専門学校から 6 名の学生が参加し、二日間で 110 名ほどの選手に手当てしました。（すべて Injury report を作成）スミス骨折（疑）、前十字靭帯損傷、肋骨骨折（疑）、マレットフィンガーなど新鮮外傷も多く、特に学生さんたちにとっては良い勉強になったと思います。

今年もマスターズハンドボール連盟より 7 月 11 日（土）、12 日（日）に行われる全国大会への救護依頼があり、本会として受託しました。

今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

支部長あいさつ



鶴舞支部長

天野 敦之

本年度も引き続き鶴舞支部の支部長を務めさせていただきます天野 敦之です。支部長として2年目を迎えましたが、まだまだ学ぶことばかりで昨年より少しでも前に進めるよう努めてまいります。

今後は役員の選出方法を見直すなど、支部内の活動がより活発で、より参加しやすいものになるよう、知恵を出し合って取り組んでいきたいと思っています。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



笠寺支部長

山口 敬史

今期も引き続き笠寺支部長を担当することとなりました。支部長として6年目となりますが、やっと支部長の仕事を全うできるようになったのかなと思います。

支部の活動では、特に若い方に新たな提案を頂きながら今までとは違う活動を取り入れています。より多くの会員の皆様に参加していただくことが大きな課題となっています。特に笠寺支部役員は、支部会員の皆様のお困りごとの、経営・保険請求・自賠請求・自費施術等に真剣に相談にのってくださり、情報交換・アドバイスをいただけます。是非とも多くの支部会員の皆様のご参加をお願い致します。



大曽根支部長

大口 明良

大曽根支部長8年目の大口 明良です。

世間では物価が上昇しているなか、日本初の女性首相が誕生し、諸々の施策が打ち出されています。我々の業界では材料費の高騰に因り、経費の管理に腐心しています。

当支部においては、春日井市における介護保険を利用した介護事業への参入について、協議が前向きに進んでおります。

支部内では会務運営に参加して下さる新しい会員の加入が心強く感じております。本年度も支部長として支部の発展に尽力してまいります。宜しくお願いいたします。



中村支部長

池村 三行

昨期に引き続き中村支部長を拝命し7期目を迎えました。

当支部では、会員の技術向上と地域医療への貢献を目指し、日々活動しております。具体的には、年1回の「学術研修会」による最新知識の研鑽や、毎週金曜日に美和中学校の道場で行う「柔道稽古」を通じた心身の育成に励んでおります。

今後も地域の皆様に信頼され、寄り添える接骨院であり続けるよう、会員一丸となって精進してまいります。



熱田支部長

小林 茂

今年の熱田支部総会・連盟総会は6月21日（日）に行われ、支部学術研修会は6月28日（日）にZoomで開催されましたが、年々参加会員が減少しています。他支部も同様かと思いますが、特にコロナ禍以降は参加会員が減少傾向にあり、支部長でも顔を把握できていない新入会員もあります。総会後は毎回意見交換会も開催されるので、是非参加して情報交換をしていただきたいと思います。



一宮支部長

三谷 誉

一宮支部では、会員相互の情報共有と資質向上に努めております。若手からベテランまで協力し合い、日頃から親睦を深めながら、地域行事への参加を通じて、地域の皆様とのつながりも大切にまいりました。

また、保険講習では中野保険部長より「療養費の取り扱いについて」ご講義いただき、学術講習では、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」について学ぶ機会を設けました。こうした活動の積み重ねが、会員一人ひとりの成長と地域医療への貢献につながるものと考えております。

今後も研鑽を重ね、地域により一層信頼される支部づくりと次世代育成に、会員一同で力を合わせ、誠実に努めてまいります。



半田支部長

室谷 勉

半田支部は知多半島全土に渡り展開しており、5市5町あります。

支部総会後の情報交換会では5市5町全ての市長、町長にも参加していただき、支部会員全員でおもてなしすることはもちろん、各市町で開業されている会員がその市町の首長と直に情報交換する、そんな素晴らしい場が設けられています。

現在7市町と防災協定が締結されており、4月23日（木）には美浜町防災課に打ち合わせの場を設けていただき、締結に向けて動き出しました。こう言ったところからも市町との連携を密にして、介護の仕事にもつなげていきたいと考えます。

自分たちのみならず、若い会員の今後のためにも頑張りたいと思います。



刈谷支部長

竹内 健二

刈谷支部長としても10年以上が過ぎました。昨今は、各会員の皆様方は未だ患者数の回復が見込めず、経営が厳しい状況が続いていると思いますが、何とか今の仕事を続けていけるように努力してみえんと思います。ただ、今年は料金改定が行われるので多少なりとも期待が膨らみます。

これからも生活の安定を図れるよう、接骨院業務以外にも機能訓練指導員としての活動も検討していかなければいけないと考えます。支部長として、支部会員皆様方のご意見、お

問い合わせ等を愛整会に伝え、良い情報が有れば随時お知らせしたいと思います。

昨年よりマラソン大会の救護、訪問型サービスの開拓など各市町に問い合わせ、今後仕事が増えればと思っております。

今後大変難しい時期ですが、役員とも協力して本会や支部のために最後のご奉公と思ひ頑張りますのでよろしくお願い致します。



岡崎支部長
樋渡 啓祐

岡崎支部では、本会の方針にならい、介護部を中心として介護予防事業への参入に向けた様々な取り組みを進め、岡崎市では既に参入し活動を始めておりますが、豊田市においては、現時点で本格的な参入には至っておりません。特に、訪問型サービスCにつきましては、我々柔道整復師が日頃の業務で培ってきた知識と経験を十分に活かすことのできる分野であると考えております。そのため、岡崎支部としてもぜひ参加したいという思いで、関係各所との協議を重ねております。

会員にとっても参加しやすい形での事業展開を目指していきたいと考えております。そのためにも、今後も多くのご意見を伺いながら、課題を一つひとつ整理し、豊田市とも粘り強く協議を重ね、お互いに win-win の関係を築けるよう取り組んでまいります。



豊橋支部長
金城 光伸

豊橋支部では、地域住民の健康増進を目的とした一般介護予防体操教室を開催し、多くの参加者に運動の機会を提供させていただいております。また、バレーボール大会やアクアリーナ豊橋カップ水泳大会では救護ボランティアとして大会運営を支援し、参加者の安全確保に努めています。さらに柔道大会では、救護活動だけでなく審判業務を通じて円滑な大会運営に貢献し、地域スポーツ振興、柔道整復師の知名度アップに積極的に取り組んでおります。

柔道整復療養費取扱い研修会

2月15日（日）愛整会館3階講堂にて、①午前9時30分から（第一地区）と②午後1時からの（第二地区）の2部制で開催され会員224名と勤務柔道整復師3名が参加した。

石川副会長の司会進行の下、藤川会長は挨拶の中で「保険は私どもの基本になりますので、この部分だけはしっかりと今日勉強していただきたいと思います」と述べ講演に移った。

○藤川会長・日整保険部長「日整保険の最新情報」



昨年度出た療養費の支給基準において、療養費の支給対象となる負傷は外傷性が明らかな骨折、脱臼、打撲、捻挫で、内科的原因による疾患は含まれない。介達外力による筋腱の断裂、いわゆる肉離れは挫傷を伴う場合もあること。このところをしっかりと先生方は覚えておいていただきたい。療養費を扱う分野と自費の施術の分野というものはきっちり分けをしてほしいことなどを述べたほか、春日井市での介護事業参入や7月の柔整療養費改定の話をした。

○河合保険担当副会長「保険者の傾向と対策」「返戻申請書の訂正の注意点」



返戻について、「内容返戻」と「事務返戻」があること、内容返戻されることが多い例を

挙げ注意事項を説明した。

また、事務返戻では、「資格喪失」、「記号番号が間違っている」など、事務的な間違いでの返戻であることが説明され、内容返戻よりこちらの方が多く、今年度から郵送費用を削減するために楽楽明細を導入しているが、返戻がこんなに多いと、なかなか経費削減の効果が見られない。特に事務返戻については十分確認をした上で提出をしていただきたいと要請した。

返戻の訂正の不備による再返戻について、会員からの質問が多い箇所の説明を行ったのに続き、本会ホームページの会員専用ページで各種書類の印刷やダウンロードの他、Q&Aなどが掲載されていることを説明した。
○中野保険部長「療養費支給申請に関する施術録の書き方」



冒頭、「施術録は、療養費の支給申請を行うために非常に大切なものであることと合わせて、皆様が柔道整復師としてやってきた、生きてきた証でもありますので、きれいに正しく書いてもらって、記録を残していただくことが非常に重要ではないかと思います」と施術録の重要性を説明し講演を始めた。

施術録記載の注意点、管理、基本記載事項と実践を説明し、記載のルールでは、鉛筆、消せるペン（フリクションボール等）は禁止で、黒または青のボールペンを使用すること。訂正は、定規を使って二重線で消して修正液、修正テープは使わない。第三者が読める字で書くことを説明し、最後に申請書の印字かすれ、ズレ、記載漏れの返戻が増えているため、刷り出した後、提出前にチェックをお願いした。

講演後、質疑応答が行われ閉会となった。
（広報部）

連盟総会

3月1日（日）9時30分より、本会3階講堂にて令和7年愛知県柔道整復師連盟総会が開催された。石川副委員長の開会の辞に続き、藤川委員長の挨拶では、「本日は早朝より愛知県柔道整復師連盟7年度総会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。日頃より連盟活動に対し深いご理解とご支援をいただいておりますことに心より御礼申し上げますとともに、皆様お一人おひとりのご協力があってこそ、私たちの連盟は安定した運営と着実な発展を続けることができいております。



昨年は7月に参議院議員通常選挙があり、愛知選挙区では酒井 庸行候補、比例代表では釜 范 敏候補を会員皆様のご協力をいただきまして、両人の当選を見ることができました。改めましてご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年は年明け早々に衆議院の解散総選挙となり、高市総裁の支持率の高さもあり、愛知選挙区では比例復活も含め16区全員の当選となりました。また、東海比例選挙区においても、私どもの連盟と関わりのある2名の先生がご当選されました。前回の逆風下での選挙とは真逆の風があったものと推察いたしますが、愛知県選出の衆議院議員が18名となりました。私たちの業界のためにご尽力いただけたものと思っております。

当連盟も、他の加盟団体と連携強化など



様々な取り組みを進めてまいります。先の衆議院総選挙においても、連盟の存在意義を示せたものと思っております。これもひとえに会員皆様の積極的な参加とご協力のおかげと感謝申し上げます。本年は、社会環境の変化や新たな課題に柔軟に対応しながら、より一層の発展を目指してまいります。

最後に、今後とも皆様の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします」と締めくくった。



議長、副議長の選任には大曾根支部の大口 明良委員と刈谷支部の竹内 健二委員が指名された。当日の参加者数は3月1日現在、会員数652名に対し、出席者数45名、委任状提出者数436名の合計481名であり、過半数326名を優に超えているとし、総会の成立が宣言された。

続いて、以下5議案について各担当責任者や監事より説明があり、賛成多数にて承認された。また一宮支部の浅野 加津彦会員からの質問状に対し藤川委員長からの回答があった後、石川副委員長の閉会の辞にて無事終了した。

第1号議案 令和7年分愛知県柔道整復師連盟事業報告承認の件

[松田 吉弘総務担当責任者より説明]

第2号議案 令和7年分愛知県柔道整復師連盟収支決算書承認の件

[石田 真由美会計担当責任者より説明]

第3号議案 監査報告

[山口 敬史監事より説明]

第4号議案 令和8年分愛知県柔道整復師連盟事業計画（案）承認の件

[松田総務担当責任者より説明]

第5号議案 令和8年分愛知県柔道整復師連盟収支予算書（案）承認の件

[石田会計担当責任者より説明]

（広報部）

第37回機能訓練指導員実務研修会 第21回機能訓練指導員フォローアップ講習会 第103回会員研修会・第21回県民公開講座

3月1日（日）、本会3階講堂での愛整連盟総会に引き続き、10時30分から11時30分まで、第37回機能訓練指導員実務研修会・第21回機能訓練指導員フォローアップ講習会・第103回会員研修会・第21回県民公開講座が開催された。今回は当会介護部機能訓練研修委員の平山 貴博会員（鶴舞）が「訪問型Cサービス実施時の各計測方法の統一について」と題した講演をした。



倉橋介護部長の司会進行の下、会の冒頭、藤川会長より連盟総会が無事終了したことが報告され、「この訪問型Cは介護予防事業の中の一環として行われている。この事業は森川名誉会長からの発案で、まずは名古屋市から取り組もうと動き出し、受けていただくまでに3年の歳月を要した。現在は知多市でもやっていたり。柔道整復業界、療養費が厳しい状況にある中で、収入の一環としてこの介護予防事業、介護保険等々に柔道整復師、機能訓練指導員として参入して収入を得るための一途として捉えている。しかしながら介護部からの報告では、現在の対象者が40数名、累計では60数名で、そこに参画している会員は10数名程度である。全会員650名の半数が名古屋市の会員だとすれば、320名のうちの10数名でしかなく1割にも満たない、そういう事業ではあってはならないと考えている。将来的には、愛知県下650名のうちの5割が訪問型C、介護予防事業等々に参画して別の収入源を得られるようになると、ものすごく強い力になり、対外的にも話ができるようになる。そういうことも含めて、この事業を本会として立ち上げている。

今日の研修会では、そういう対象者が来た時に、どのような測定器を用いて測定をしてデータ集積をしていくか、全てがエビデンス、根拠がなければ次の話に進まない。よって、統一感を持った計測方法、記録方法等々をしつかりと皆さん方に覚えていただいて参画をしていただくことが第一条件になってくるので、今後数回にかけてこのような研修会を開催していこうと考えています。是非この機会を逃さずに参入をしていただきたい」と挨拶を述べた。



続く平山委員の講演は、訪問型Cを提供する際に行うアセスメント（体力測定）の測定手順と評価方法を愛整会として統一し、正確なデータを蓄積していこうというものであった。今回は、その中の体力測定6項目（握力テスト、長座位体前屈テスト、椅子座位体前屈テスト、指床間距離テスト、開眼片足立ちテスト、5回立ち上がりテスト）とHDS-Rテスト、K6テストの実施方法や実際の書類の記載方法、高齢者特有の注意点などについて、介護部員の実演を交えた内容であった。統一した計測方法が必要な理由として、信憑性の高いデータを収集することで、訪問型Cが高齢者にとって有益な証明になると述べた。

（広報部）

第35回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会
第15回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年柔道「形」競技会



4月19日（日）愛知県武道館にて、第35回少年少女柔道大会、第15回少年柔道「形」競技会が、参加者325名にて開催された。

「形」競技会では、岡崎支部の戸松 戒斗選手（取）中嶋 彩央里選手（受）が優勝し、昨年に続き11月8日（日）講道館で開催される第16回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道「形」競技会へ愛知県代表として出場することが決定した。

柔道大会では、各学年決勝戦の後、第35回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会及び第23回柔整師杯東海少年柔道大会の出場をかけて4年生男女優勝者から先鋒を、5年生男女優勝、準優勝者から次鋒・中堅を、6年生男女優勝、準優勝者から副将・大将を選考する「選抜選考試合」が行われ代表選手が選ばれた。

（広報部）

第15回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年柔道「形」競技会

順位No	順位	取	取学年	受	受学年	所属	監督
1	優勝	とまつかいと 戸松戒斗	6	なかじまさおり 中嶋彩央里	6	岡崎支部	作田新之助
2	準優勝	みやしたとうい 宮下權至	6	すずきさあや 鈴木咲絢	6	刈谷支部	宮下広大
3	三位	まつもとこはる 松本こはる	6	はなだゆいな 花田結菜	6	半田支部	加古若子

第35回公益社団法人愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会

性別	学年	順位	氏名	所属	
男子	4年生	優勝	荒田瑠璃	東海少年柔道教室	
		準優勝	下山大晴	六郷道場	
		三位	林大海	六郷道場	
		三位	前野豪太郎	六郷道場	
	5年生	優勝	剛迫優翔	六郷道場	
		準優勝	今井雄都	稲沢柔道会	
		三位	剛迫彩翔	六郷道場	
		三位	大原輝真	六郷道場	
	6年生	優勝	藤野桜介	羽田野道場	※
		準優勝	水谷公亮	小牧柔道会	
		三位	吉野瑞仙	羽田野道場	
		三位	大須賀愛虎	羽田野道場	

性別	学年	順位	氏名	所属	
女子	4年生	優勝	柳田莉帆	東海少年柔道教室	
		準優勝	八重樫杏	東海少年柔道教室	
		三位	小田原一禾	大石道場	
		三位	寺岡衣千花	六郷道場	
	5年生	優勝	渡会詩織	羽田野道場	
		準優勝	藪本柚葉	中田塾	
		三位	城所伶依	羽田野道場	
		三位	高須莉乃	翔塾	
	6年生	優勝	大野陽菜	六郷道場	※
		準優勝	八重樫花	東海少年柔道教室	
		三位	松本こはる	半田少年柔道教室	
		三位	北川楓	東海少年柔道教室	

* 印は「大会会長賞」として表彰

全国大会・東海大会選抜代表選手

先鋒	柳田莉帆	東海少年柔道教室	4年
次鋒	剛迫優翔	六郷道場	5年
中堅	今井雄都	稲沢柔道会	5年
副将	大野陽菜	六郷道場	6年
大将	藤野桜介	羽田野道場	6年

東海大会女子団体戦代表選手

先鋒	八重樫杏	東海少年柔道教室	4年
中堅	渡会詩織	羽田野道場	5年
大将	八重樫花	東海少年柔道教室	6年

愛知県柔道整復師会定時総会 愛知県接骨師会共済会総会

5月24日（日）、10時より愛知県柔道整復師会定時総会・愛知県接骨師会共済会総会が、本会会館3階講堂にて開催された。

窪田 陽子（半田）・山口 敬史（笠寺）両会員の司会進行で始まり、河合副会長の開会の辞に続き、石川副会長が会長代理として挨拶を代読した。その中で7月施術分からの料金改定に触れ、療養費取扱い研修会を6月17日（水）午後1時30分より本会会館3階講堂にて対面式、及びオンラインにて行う旨を報告した。

続いて物故者2名への黙祷、新入会員7名が紹介され、新入会員を代表して加藤 球二会員（岡崎）が挨拶を行い、石川副会長より歓迎の言葉が贈られた。表彰に移り、喜寿会員9名・長寿会員2名が紹介され、出席者（欠席者は代理人）一人ひとりに石川副会長が記念品を授与した。



新入会員

正副議長には、大口 明良（大曾根）・竹内 健二（刈谷）の両会員が選任され、出席会員数58名、委任状提出会員数411名の合計469名で、過半数会員数（定足数）322名／総会員数643名にて、総会の成立が宣言された。

松田総務部長から令和7年度事業報告と附属明細書の報告が行われ、

- 第1号議案 令和7年度貸借対照表承認の件
- 第2号議案 令和7年度正味財産増減計算書承認の件
- 第3号議案 令和7年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書承認の件
- 第4号議案 令和7年度財産目録承認の件



が河合経理部長から報告、その後櫻木監事より監査報告があり、採決の結果、4議案全てが挙手多数にて承認された。

第5号議案 外部理事・外部監事選任の件が松田総務部長から説明の後、採決が行われ挙手多数にて承認され、石井 雄介外部理事、遠山 典志外部監事が挨拶を行った。



石井 雄介外部理事



遠山 典志外部監事

質問状は届いておらず、報告事項として松田総務部長より令和8年度事業計画書の件、河合経理部長より令和8年度収支予算書の件、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件について報告があり、全ての議題がスムーズに進行し、10時40分、河合副会長の閉会の辞にて定時総会が終了した。

続いて、11時00分より愛知県接骨師会共済会総会が開催された。櫻木副会長が開会の辞を述べた後、河合会長が挨拶を行った。

正副議長には、竹内（刈谷）・大口（大曾根）両会員が選任され、出席会員57名、委任



状提出会員414名の合計471名・過半数会員（定足数）323名／総会員数643名にて、総会の採決が有効に成立することが宣言された。

- 第1号議案 令和7年度事業報告承認の件
（小林 茂総務担当）
- 第2号議案 令和7年度収支決算書承認の件
（小林 茂会計責任者）
- 第3号議案 監査報告 （大口 明良監事）

が行われ、以上3議案は、挙手多数にて承認された。

質問状は届いておらず、報告事項として、令和8年度事業計画の件 （小林総務担当）
令和8年度収支予算書の件

（小林会計責任者）
が報告され、11時30分、櫻木副会長の閉会の辞にて終了した。 （広報部）

□新入会員

入会日	支部・氏名	施療所名・住所・電話番号・郵便番号
令和8年 1月5日	中村 きまた ゆうき 木全 由樹	TAiSEiKAN接骨院 名古屋市西区則武新町3丁目1番17号 TEL 052-526-1266 〒451-0051
令和8年 4月1日	笠寺 てら い げんぞう 寺井 玄造	徳重接骨院 名古屋市緑区亀が洞3丁目113 ラ・フォーレ近藤103 TEL 052-876-2983 〒458-0804
令和8年 4月7日	鶴舞 みず の きみまさ 水野 公勝	みずの接骨院 名古屋市天白区塩釜口二丁目210番地 TEL 052-831-9714 〒468-0073
令和8年 5月9日	大曾根 きたたに もり や 北谷 守也	もりや接骨院 藤が丘院 名古屋市名東区藤が丘120-2 ハシモビル102 TEL 052-737-9189 〒465-0032

□準会員

入会日	支部・氏名	施療所名
令和8年 4月1日	岡崎 たけだ たくま 武田 拓馬	石川接骨院 勤務柔道整復師
令和8年 4月1日	岡崎 ふくい じ だん 福井 慈大	石川接骨院 勤務柔道整復師
令和8年 4月1日	岡崎 ふじた ともみ 藤田 智巳	石川接骨院 勤務柔道整復師
令和8年 4月1日	岡崎 しのみや そういちろう 篠宮 壮一郎	石川接骨院 勤務柔道整復師
令和8年 4月1日	岡崎 やまもと りきや 山本 力也	石川接骨院 勤務柔道整復師
令和8年 5月1日	笠寺 いしかわりょうか 石川 涼加	ひらやま接骨院 勤務柔道整復師



鶴舞

田原市博物館を訪ねて

鶴舞支部広報担当
山本 篤

田原市博物館が「渥美半島の貝塚展」(2025年10月4日～11月30日)を開催していると聞き、昨年11月末に足を運びました。私にとって田原市は一度行ってみたい場所で、名鉄豊橋駅で田原線に乗り換え、車窓からのんびりした風景を見ながらの旅は心地良いものでした。

三河田原駅から徒歩11分程で田原市博物館に到着しました。入館したら貝塚展ののぼり旗が立っていて吸い込まれるように展示場に入っていました。田原には24,000年前(旧石器時代後半)から人が暮らし始めていたようで、その頃は平均気温が5～7度低く海面が今よりも低く三河湾、伊勢湾もなく地続きだったといわれています。その後、縄文時代の13,000年～2,300年前頃は気候も温暖になり海面も上昇し、魚もたくさん採れるようになり、豊かな森、海に囲まれた資源を有効活用するために定住し家族を形成し、そして土器、弓などが発明され新しい文化が育まれていったようです。ゴミ捨て場等衛生環境も良くなり、土器



で煮炊きすることにより殺菌ができ食のリストが増えたようです。展示物は細石器、貝塚、埋葬に伴う副葬品(玉類、貝輪)や埋葬方法が多かったです。細石器は石矢尻から、石を割ったナイフがあり、現代でも使えそうです。

埋葬された骨の中には犬も含まれ、丁寧に埋葬されていたそうです。そして猟犬やペットとして大切にされていたようです。大きさは柴犬に近い大きさだったようです。



資料では縄文人の顔は、目鼻立ちがハッキリしていて、顔幅が広く顎がしっかりしており、体は筋肉隆々で身長は162センチで体はマッチョです。DNA鑑定では、田原縄文人のルーツはアフリカ由来で、アジア東部に4～50,000年前にやってきて、ヒマラヤ山脈南北でも見つかっており、どのルートで来たのかははっきりしていないそうです。「あなたの顔は縄文人ですか、それとも弥生人ですか」そんな古代に夢をはせた一日の旅でした。

最後に博物館隣接の華山会館で食べた味噌煮込みうどんはとても安くて美味しかったです。江戸時代、田原で活躍した名士である渡辺 崋山を祭った崋山神社もお詣りしたので渡辺 崋山のことも書きたかったのですが残念です。(資料参考 田原の文化財ガイド)

奈良・桜井・箸墓古墳に眠る姫



鶴舞支部
嶋田 篤司

昨年、奈良へ車で出かけた際にカーナビがとある歴史的史跡を表示しました。

『倭迹迹日百襲姫大市墓拝所』

「百襲う姫??」とても気になったのですが移動中だったこともあり、後日インターネットで調べてみることに。この場所は『箸墓古墳』と名称があり、3世紀に造成されたとされる前方後円墳でした。弔われている御魂がこの『倭迹迹日百襲姫命』（やまとととびもそひめのみこと）。孝霊天皇（こうれいてんのう）の娘であり、予知により天皇の身の危険を回避したとされる巫女と伝わっているそうで、おてんばお姫様でなくてよかったと思いました。

ですが、この古墳の名前である『箸墓』の由来が、神様との約束を違えてしまったことを悔やんだ姫が箸で自らを刺し、命を落としたという悲劇のお話です。

調べたからには行きたくなるもの。改めて日程を調整し箸墓古墳を訪れました。と言っても、有名な三輪素麺の飲食店がすぐ通り向かいにあり、「待ち時間に訪れた…」が正確なのですが。

古墳は木々が生い茂り、宮内庁管轄なのでもちろん古墳内への立ち入りは禁止されています。今回立ち寄ったことで新たに知ったことは「奈良における邪馬台国女王卑弥呼の墓説」です。造成時期が3世紀とほぼ同じで、魏志倭人伝に書かれている大きさも似ている。またこの時代における前方後円墳では国内最大規模を誇り、巫女である女性が埋葬されている言い伝えがあることなどが要因かと個人的に考察しております。

また、昨年から宮内庁が箸墓古墳の再調査を始め、古墳周囲には水堀があり、その水堀

を渡る石も発掘されたと発表がありました。それだけ大規模な造成をしたお墓の真実とは…今後の発掘調査の報告が気になります。

余談になりますが、先月箸墓古墳の近くにある大神神社へ参拝に行き、摂社のひとつである倭迹迹日百襲姫命を御祭神とした神御前神社にも参拝できました。参拝できたのは偶然か、はたまた呼ばれたのか、どちらでしょうね。

笠寺

春のツーリング



笠寺支部
矢野 康治

5月の4・5日の連休を利用して長野から群馬県方面に友人とバイク2台で一泊二日のツーリングに出かけた。私の一番の目的はこの時期にしか見られない志賀草津高原ルート「雪の回廊」である。同ルートは標高が高いため冬期は閉鎖されるが4月下旬に再び開通する。ここは群馬県と長野県の県境を通り、近くの渋峠付近には日本一標高の高い国道最高地点碑（標高2,172m）がある。バイク乗りにとって春は秋と同様とても快適な季節である。

当初5時30分に恵那峡SA（上り）で待ち合わせであったが、早朝は雨模様だったので8時30分に変更した。到着すると大型連休の影響で駐車場はかなりの混雑である。SAで今日の走行ルートをお互いに確認し出発した。小黒川PAで最初の休憩を取り、岡谷JCTを経由し岡谷ICで降りてR142を北上し農産物直売所 マルシェ黒耀で2度目の休憩と軽食をとる。

ここからつまごいパノラマライン北ルートを通り、友人の希望で群馬県嬬恋村の「愛妻の丘」を目指す。途中浅間山麓の広大な眺望に圧倒され記念撮影。以前訪れた九州の阿蘇山麓を少し思い出した。愛妻の丘では誓いの



鐘や、『愛妻家テミル原則』と書かれたユニークな看板があり、夫婦の絆を深めるにはgoodな内容である。

次は浅間・白根・志賀さわやか街道を北上する。標高約1,600mの高原道路を通過する途中、山桜が満開で私たちを出迎えているような気がした。R292を経由し道の駅「草津運動茶屋公園」で休憩を取り本日残りの行程を練る。

目的地の雪の回廊に行くには、志賀草津高原ルートが一部通行止め、草津白根山も噴火警戒レベル引き上げに伴い「殺生ゲート」から「万座三叉路ゲート」までの区間8.5kmが通行止めで、色々検討した結果、目的地に行くにはかなりの時間を要するため草津温泉で宿泊することにした。

観光案内所にて宿泊先を尋ねる。大型連休のさなか当日キャンセルでもない限り厳しいだろうと心の中で思っていたが、素泊まりならOKの宿が見つかりとてもラッキーであった。その宿は米山館 鬼無里屋といい、家族経営の気さくな温泉旅館であった。

時間がまだ早いので草津温泉の有名な湯畑へ。周りは人でいっぱいである。さすが日本一の温泉地。温泉噴出量は1分間に約32,300ℓ、家庭風呂160件分らしい。夕食は近くの居酒屋で済ませて宿に戻る。標高約1,200mのため夜は寒かったが、温泉につかり一日の



疲れを癒した。

翌日は万座ハイウェイルート経由で目的地の雪の回廊を目指す。途中気温-1℃で凍結している所もあり注意を要した。しかし前日の降雪で出来た樹氷はとても綺麗であった。日本一標高の高い国道最高地点碑～雪の回廊～群馬県と長野県の県境にある渋峠ホテルまで進みコーヒープレイク。この付近標高2,152m、まだスキー場が営業している。天気にも恵まれ近くの残雪の山々や北アルプス、富士山が望め、360°の景観が楽しめた。

気分爽快、ここからはR292を下り、道の駅「北信州やまのうち」を目指す。途中はカーブの連続でバイク乗りにとってここは気持ちいい。道の駅で休憩と昼食をとり、R19で善光寺へ。ここでお釈迦さまのお弟子さんである十六羅漢の筆頭である「賓頭盧（びんずる）尊者」に触れ、自身の悪い部位が改善するよう願った。来年は7年に1度の「御開帳」らしい。

最後にわさび農場を見学。ワサビソフトを堪能し、安曇野にある知人の娘さん経営の「café & zakka セツ月」でコーヒープレイクをして、安曇野ICから帰路に着いた。今回は一泊で走行距離は往復約700km。とても充実したツーリングになった。



大曾根

草野球

大曾根支部
梅野 寛亨

人数合わせで参加していた後輩の草野球チームに、昨年度から正式メンバーとして所属することになった。気分も新たに、ベルトとスパイクを新調。春からリーグ戦が始まったが、過ごしやすい気候は長く続かず6月頃から一気に暑さが増していった。



真夏日に試合が多く、熱中症アラートが発令される中でも予定通り試合は行われ、 TENT や氷嚢、スポーツドリンクなどで対策はしていたものの、暑さは想像以上に厳しく、フラフラになりながらプレーする日もあった。

令和8年（4月17日気象庁発表）からは、40度を超える暑さの日を「猛暑日」ではなく「酷暑日」と呼ぶようになったが、まさにその言葉通りの体感だった。曇り空で気温が30度を少し超える程度の日が、むしろ涼しく感じられるほどである。テレビで甲子園を観ていると、選手たちが置かれている過酷な環境に思いを巡らせてしまう。一方で、日頃から炎天下で厳しい練習を積んでいるからこそ、あの舞台でのプレーが成り立っているのだとも感じる。それでも、せめて夏の大会だけでも屋根付き球場で開催できないものかという願ってしまう。

さて、自分のプレーについてだが、守備は大きな問題なくこなせていたものの、打撃は振るわず、打率1割にも満たない厳しい状態

が最終戦まで続いていた。バットを替えたり、構えや立ち位置を試行錯誤したりしたもの、なかなか結果には結びつかず、むしろ自分のバッティングの未熟さを痛感するばかりだったが迎えた最終戦、思いがけず決勝タイムリーを放つことができ、ようやくチームに貢献することができた。その日の喜びは格別で、夜に飲んだビールの味もひととき美味しく感じられた。

次のシーズンも頑張ろうと気持ちを新たに矢先、監督から「次年度は人数不足のため休部します」との連絡が入った。思い返せば、シーズン中は毎試合のように助っ人に頼りながら、なんとか試合が成立している状況だった。寂しさはあるが、今後の再活動を信じ、また声がかかった時に備えて準備をしておきたいと思う。

中村

豊國神社・中村公園

中村支部広報担当
半谷 和男

豊國神社へと続く中村公園前交差点の赤い大鳥居は、車で走っていてよく目に入ります。しかし「豊國神社・中村公園」は中村支部会員ではありますが、今まで行ったことがありませんでした。そこで今年NHKで「豊臣兄弟！」が放送され、生まれ育った地「中村」が登場したこともあり訪ねてみました。

豊國神社は、豊臣秀吉を御祭神として祀る

神社で、明治18年秀吉公の生誕地の荒廃を嘆いた、時の県令（県知事）国貞 廉平の発令により、地元の有志らにより創建されました。今でも秀吉公を慕う地元の人々、また全国からも多くの参拝者が訪れています。

つぎに中村公園（愛称秀吉清正公園）は、明治34年豊國神社創建を計画した有志らによって、境内周辺の土地が愛知県に寄付され県主導のもとに整備された市内最古の公園で、地元の人々の憩いの場となっています。

園内には、和風の池や流れが整備された庭園と、それに面した茶室があり、また「大正



天皇御手植えの松」「初代中村勘三郎誕生記念像」などの見どころや、自然と触れ合うことのできる児童園、西側にある中村公園文化プラザ2階には、中村で育った秀吉と加藤清正に関する資料を収集・展示する歴史博物館の「名古屋市秀吉清正記念館」があります。

今、公園内には2026年大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機として令和8年1月24日（土）～令和9年1月11日（月）まで「豊臣ミュージアム」がオープンしています。「大河ドラマ館」では、ドラマの衣装や小道具、特集パネルや独自の映像コンテンツなどが展示されドラマの世界観が体験できます。

この機会に歴史のお好きな方、大河ドラマのお好きな方、今なら普段お目にかかれない体験もできます。お時間を見つけて足を運ばれてはいかがでしょうか。

熱田

ン十年ぶりの久屋大通公園

熱田支部広報担当
山守 貴英

我が家には昨年10月に保護犬譲渡会で譲り受けた推定3歳のメスのヨークシャーテリアがありますが、先代のチワワと違い散歩が大好きで、行きかう人にしっぽを振っては寄っていき、他所の犬を見かけようものなら嬉しくてグイグイ突進して行くこともしばしば。

5月3日（日）は薄曇り空でしたが、犬のストレス発散も兼ねて、一度訪れてみたいと思っていた、リニューアルされた久屋大通公園「Hisaya-odori Park」へ妻と長女の三人で行ってきました。

当初は愛知県庁西庁舎の無料開放駐車場へ車を停める算段でしたが、あいにく満車だったので土曜・日曜・休日は駐車禁止除外とされている県庁周辺の路上で空いているスペースを発見し無事駐車。公園へは外堀通沿いの



北側から入りましたが、早くもオシャレな書店兼カフェがあり驚きました。

そもそものは、1949年頃に久屋大通の整地工事が始まり、1957年に久屋大通の中央部分が公園として整備されることとなり、1970年1月に都市公園として久屋大通公園が設置されたとのこと。その後は公募設置管理制度という公募により選定された民間事業者を運

営主体とする整備が行われ、2020年9月にリニューアルオープン。公園自体はいくつかのエリアに分けられおり、北側のケヤキヒロバ、シバフヒロバから始まり、テレビトーヒロバやミズベヒロバ、光の広場など15のエリアがあるそうです。(ウィキペディアより抜粋)



さて、高校生以来の休日の久屋大通公園。齢五十のオッサンは初めて何をしたかというと、家族とは別れてコンビニへ立ち寄り500mlの缶ビールを買いました。真っ昼間の公園で飲むビールは格別ですね。暫しほろ酔い気分でした。かつての公園の面影など全くないほどあらゆる商業施設や催しが並び、また多くの人出で賑わっていました。

フラフラ歩いていると、エディオン久屋広場の辺りにもイベントのテントを発見。そこでは「ベルギービールウィークエンド2026名古屋」と銘打ったベルギービールのイベントが開かれており、気が付いたら受付に並んでいました。

システムは、先にビールグラスとコインを購入し、それぞれ商品ごとに決められた枚数のコインで支払うというもの。私はコイン13枚の「スターターセット」、3,990円を注文し、独りビールカウンターで物色していましたが、呆れ顔の家族は先に通過したクレープ屋へ行くと言いついてしまいました。多くのビールは一杯4～6枚のコインとなっていたので、フードには目もくれず、コインの過不足がないようにビール二杯を慌てて飲み干し、最後の一杯はなみなみのグラスをこぼさないように手にしたまま、後ろ髪を引かれる



想いで家族を追いかけました。

なんとかクレープの会計に滑り込んだ私は海老とアボカドのクレープを注文しましたが、屋外で頂いた計四杯のビールと美味しいクレープは、日頃接骨院に籠りっぱなしの私にとっては十分すぎる非日常体験でありました。

一宮

那須塩原を観光して



一宮支部
川島 秀司

令和7年11月2日、3日の連休を利用して関東へ行ってきました。

まず2日に埼玉県で用事を済ませた後、3日は東北自動車道を走り栃木県那須塩原までドライブし観光しました。

当日はちょうど寒気が南下して日光でも雪がちらつく寒い日でした。

観光の目的はもみじ谷大吊橋、美術館、温泉そしてグルメなど行きたいところはたくさんありました。

その中で観光の途中で立ち寄ったのが那須で有名なベーカリー「ペニーレイン」本店です。いつも行列ができる店でビートルズをモチーフにした外観と店内はとても個性

的で入った瞬間からワクワクした気持ちになりました。店内では焼き立てのパンの香りが広がりどれを選ぶか迷ってしまうほど種類が豊富で、特に人気で代表的なパンは「ブルーベリーブレッド」で多い日には1日に1,200本も売れるそうです。パンがお好きな人には



お勧めです。

那須塩原を訪れて、観光地としての賑わいもありながらも、どこか穏やかで心が安らぐ時間を過ごすことができたと感じました。自然とグルメの両方を楽しめる那須塩原はまた訪れたいと思える魅力あふれる場所でした。

みなさんも機会があれば行かれてはどうでしょうか。

歴史ある洋館で祝う新しい門出



一宮支部
大塚 英洋

昨年11月29日(土)、義理の甥の結婚式に参列するため京都を訪れました。秋の京都は観光シーズンの最盛期で、街中には多くの観光客が行き交っていましたが、中国の渡航自粛勧告の影響もあるのか、中国人観光客は以前より少ないように感じました。一方で欧米からの旅行者は相変わらず多く、世界中の人々が古都の魅力に惹かれて集まっていることを改めて実感しました。にぎわいと静けさが同居する京都らしい空気の中、式場へと向かいました。

会場に到着した瞬間、建物の重厚な佇まいに目を奪われ、これは歴史ある建物ではないかと直感しました。後で調べてみると、会場の「FORTUNE GARDEN KYOTO JAPAN」は1927年に島津製作所の旧本社ビルとして建てられた洋館で、設計を担当したのは近代建築の第一人者・武田 五一氏。アーチ状の玄関や丸窓、当時

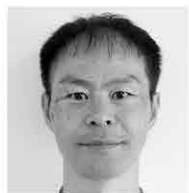


としては先進的だった蛇腹式エレベーターなど、昭和初期のモダン建築の意匠が今も息づいており、館内に足を踏み入ると、建物が歩んできた年月がそのまま空気として伝わってくるようでした。また中庭には水と緑が広がり、街の中心とは思えない静けさが漂っていました。

そんな歴史深い空間のなかで、すでに半年前に入籍し一緒に暮らしている甥夫婦が、改めて夫婦としての門出を迎える姿を見ると、長い時を刻んできた建物と、これから未来を歩むふたりの希望が重なっていくように感じられました。甥夫婦の晴れやかな笑顔に心から祝福の思いがあふれ、私自身にとっても記憶に残る温かな一日となりました。

半田

愛岐トンネル群を散策



半田支部広報担当
西松 信明



春日井市と岐阜県多治見市にまたがる旧国鉄中央線廃線跡の「愛岐トンネル群」の春の特別公開が5月2日（土）から6日（水）まで行なわれたので散策に出掛けました。

愛岐トンネル群は明治33年、国鉄中央西線の名古屋～多治見間が開通して以来、複線電化と長大トンネルによる新線が建設されて昭和41年に廃線となるまで使われていたトンネル群です。その後、廃線路は茂った藪の中に埋もれ、人々の記憶から忘れ去られていましたが、平成17年JR勝川駅の改修工事で明治の赤レンガプラットホームが撤去されたことがきっかけでかつてのトンネルの探索が始まったとのこと。平成19年、発掘と調査を開始し、平成21年、NPO法人化して活動が本格化。平成28年には登録有形文化財に認定されました。

今回公開されたのは3号トンネルから6号トンネルまでです。トンネル群の入り口にはかつての勝川駅プラットホームの明治の赤レンガのモニュメントが設置されています。そこから先に進むとすぐに3号トンネルです。実物大のSL大幕が掛けてありイメージしやすくなっています。4号トンネルではSLの通過音と汽笛が楽しめる粋な演出がされていました。6号トンネルは333メートルの長尺トンネルで、さらに「くの字」に曲がっているため、中は真っ暗でした。どのトンネルも

美しいレンガ造りで、軟弱地盤に耐えうる強固なトンネル構造となっており、全国でも希少なトンネルだそうです。

今回初めて訪れましたが、歴史を感じさせる赤レンガトンネルと自然が融合したとても美しい文化財のひとつだと感じました。秋の特別公開時には紅葉もすばらしいと伺ったので、また参加を検討しています。興味のある方はぜひ行ってください。廃線には碎石（バラスト）が残っていますし、トンネル内は暗いため、歩きやすい靴と懐中電灯は必須です。



豊橋

あしかがフラワーパーク



豊橋支部広報担当
伊藤 智章

オートバイでのツーリングが趣味で、ゴールデンウィークを利用して、「あしかがフラワーパーク」に行っていました。

ゴールデンウィークだけあって大変多くの人が来られており、駐車場に入るまでの道路の交通規制や駐車場の渋滞など想像以上にすごかったです。

5月のあしかがフラワーパークと言えば、日本一とも言われる“藤の花（大藤）”が有名で、一度は見てみたいと思い栃木県までツーリングしてきましたのですが、残念ながら大藤棚は見頃を過ぎていて、ほとんどしぼんでしまっていた状態で大変残念でしたが、キバナ藤という名前の通り黄色い花の咲く藤は満開で大変見頃でした。



また、あしかがフラワーパークは多くの花々が様々な形で飾られており、藤以外でも見応えがありました。

今回は、日中や夜のライトアップされた綺麗に彩られた大藤棚は見られませんでした。満開時の事を想像すると、次回はしっかりと下調べをおこない、タイミングを合わせてもう一度リベンジしようと思います。

ちなみに、藤の花は紫の花を咲かす藤は落ち着いた美しさがあり、藤を象徴する代表的な色で、古事記や万葉集、枕草子、平家物語にも数多く登場し古くから人々に愛されている花になります。

花ことばを存知でしょうか？

- ・紫の花を咲かす藤は、気品・優しさ・知性など
- ・白い花を咲かす藤は、純粹・清楚など
- ・ピンクの花を咲かす藤は、愛らしさ・恋愛の喜びなど
- ・黄色の花を咲かす藤は、歓迎・至福の時・恋に酔う・あなたの愛に酔うなど

このように最愛の人に贈るに適した花のようです。

皆様は最近花を誰かに送っていますか？



半田

おおぶ桜ハナモモ花めぐり ウォークラリーに参加



半田支部広報担当
西松 信明

3月29日(日)「おおぶ桜ハナモモ花めぐりウォークラリー」が晴天の中開催され、参加した。9時に大府市役所にて出発式を行いウォーキングスタート。鞍流瀬川緑道と石ヶ瀬川緑道を中心とした



コースで、チェックポイントでキーワードを集めながら、あいち健康の森公園、JA あぐりタウンげんきの郷へと向かうコース構成になっていた。

この緑道は大府市が平成2年度から河川堤防道路を活用した緑道づくりを進め、市制55周年という節目に全線が開通した。また「花まる OBU プロジェクト」により平成26年からあいち健康の森公園内に毎年ハナモモを植樹しハナモモロードを整備した。川沿いには五分咲きの桜が、ハナモモロードには満開のハナモモが見事に咲いていた。チェック

ポイントで集めたキーワードを持ってげんきの郷へ行くと花の種を頂けた。

途中の緑道や公園内には、多くのキッチンカーが出店していて、皆がそれぞれのタイミングで休憩を取りながら、お腹も満たすことができた。休憩した後は帰路へ。帰路にはチェックポイントがないため、自分のペースで歩きながら、ゴール地点である大府駅東口多目的スペースへ向かった。ゴール地点では大府市ふるさと納税返礼品体験・試食会が行われていた。



大府市役所前広場からげんきの郷までが約6.7km、げんきの郷から大府駅東口多目的スペースまでが約3.5kmで、合計で約10kmのコースであるが、大勢の方が参加され、自分も楽しみながらウォーキングできたことにより、思ったよりも疲れが出ておらず、気持ちよく歩くことができた。このような楽しみながら健康増進できる催しには今後もぜひ参加しようと思う。

刈谷

知立祭り



刈谷支部広報担当
國領 雄一

知立市で毎年5月に開催される「知立祭り」に行ってきました。

知立祭りは知立神社（神武天皇の父、鸕鷀草葺不合尊（うがやふきあわせずのみこと）を主祭神とし、皇室の祖神を祀る歴史ある神社）での祭礼で、江戸時代から300年以上続



き地域の歴史と文化を感じられ、その文化的価値の高さから国の重要無形民俗文化財に指定されています。

今年は本祭りが開催（1年おきに本祭りと間祭りが交互に開催）され、5つの町（山町・中新町・本町・宝町・西町）から豪華絢爛な5台の山車が市内を巡行し、精巧なからくり人形による上演や山車文楽が披露されます。



山車は午前中、市内各地域をそれぞれ練り歩き、昼から神社に向かって巡行し集まってくるため、朝は閑散として静かだった神社の

境内が、昼前頃になってくると地元住民や観光客で賑わい、全体が活気に包まれていました。

今年は山車が集まってきたところで雨がポツポツとし始めたため、からくり人形の上演を見ずに帰宅してしまったので、次回は天候のいい日に訪れてからくり人形の上演まで楽しみたいです。

支部だより

鶴舞

令和8年度 鶴舞支部 総会、情報交換会



鶴舞支部
山本 篤

4月19日（日）午後5時から、名古屋クラウンホテルにて鶴舞支部定時総会が行われた。支部会員31名中15名の出席であった。

第1号議案（令和7年度事業報告承認）から第7号議案まで円滑に議決が行われ、無事に終了した。

引き続き藤川会長より、「7月の施術療養費改正について、前回施術療養費改正より大幅なUPになるであろう」と説明され、日整保険部が行政や社会保障審議会等との折衝において苦労をされていることに、とても感謝し有難く思った。

総会后、来賓の議員をお招きして情報交換会が開かれた。愛知ブロックの衆議院議員も多数お越しくださり、県議会議員、市議会議員も皆様和やかに過ごされた。藤川会長より「柔道整復師会と我々がコミュニケーションを持ち、現状の改善に取り組んでいく



ことの重要性」について挨拶があった。
解散時、皆元気に席を立ち帰路にむかった。

笠寺

令和8年度 笠寺支部 総会・学術研修会・情報交換会



笠寺支部
近藤 啓介

毎年桜の時期に行われる本会。今年は葉桜となった4月12日（日）午後2時より愛整会館3階講堂にて支部総会、研修会が開催された。山口 敬史支部長の挨拶に始まり、議長選出に続き決算等の報告、本年度の予算承認、また各部の活動報告と予定等、滞りなく終了した。

引き続き行われた研修会では、菊本 智史会員による「超音波観察装置について」と題した柔道整復師にとって超音波観察装置が必要な理由について、自身の現場での経験をもとに多数の画像を用いて講演をした。装置の使い方や画像の見方など、数種類の装置を準備して実際に説明を受けながら、機種ごとの画像精度の違い、判別のポイント等参加会員全員で学べる貴重な体験をすることができた。柔道整復師にとって損傷部位に対しての唯一画像による評価、判断材料である超音波観察装置を用いることにより、症例に対し明確な見立てが可能となり患者様にも安心して通院していただけるだけでなく、医接連携という観点からも重要な繋がりがああるということを学ぶことができた。

その後例年通り会場を賀城園に移しての情報交換会が行われた。来賓として藤川会長はじめ地元選出の衆議院議員、県議会議員、市



議会議員の先生方々をお迎えした。冒頭藤川会長の挨拶では、料金改定など我々には久しぶりの明るい話題をご提供いただき、来賓の先生方からは昨今の世界情勢を踏まえ、様々な国の施策、地方の施策など柔道整復師にとって少しでも前向きな対策をしていただいていることをご紹介いただいた。

普段お話しする機会がない議員の先生方や新入会員とも交流ができ、明日からの業務の糧となる大変有意義な時間となった。

一宮

一宮市バレーボール大会救護



一宮支部
石塚 豊

一宮支部はボランティア活動として一宮市バレーボール大会の救護にあたっています。

一宮支部の会員91名で構成される尾整会が5グループに分かれ、1グループ2年間の輪番制で担当しています。令和7・8年度は川島 秀司会員を会長とし、柳田 松三、柳田 美智子、沢田、奥田、大塚、野田、入山、浅井、柳田 隆志、吉田、山田、夫馬、馬場、木全、櫻木、戸崎、太田、杉浦、石塚の20名の会員が運営にあたっています。尾整会は以前から一宮市バレーボール協会と縁があり、6人制・9人制ママさんバレーボール大会、ソフトバレーボール大会など年7回の各大会時に2名の会員が、朝から終了まで待機して救急に対応しています。

去る2月22日、一宮市総合体育館にて「一宮市ソフトバレーボール連盟いちみん交流大会」が行われました。当日の救護担当者として沢田 達也会員と私石塚が担当しました。前週までの寒さから一転、春のような暖かさの中、朝9時50分から総勢98チームを16のリーグに分けてのリーグ戦が開始されました。

午前中は選手の皆さんの元気も良く、スムーズに試合が進んでいきました。しかし、午



後になってから春のような陽気にもあてられ集中力が落ち始めたのか、怪我をする選手が出始めました。リーグ戦も後半になってくると疲れが溜まり、動きが鈍くなっています。今

までの寒さもあってあまり水分を取っていない人が多い気がしました。そんな中、下腿部の肉離れを起こした選手が出ました。その後も大腿部に痙攣を起こした選手や、滑り込んで手をついた時に突き指をした選手など立て続けに処置をしました。

これから暖かくなる中でのスポーツ活動で水分補給や事前の準備運動の大切さを実感した救護活動でした。

令和8年度 一宮支部 総会、学術研修会



一宮支部広報担当
五藤 久貴

4月19日（日）一宮支部総会が、尾張一宮駅iビル2階大会議場にて開催された。当日は支部会員の参加51名、委任状参加35名、計86名の出席をもって総会の成立が宣言された。



総会は太田 康晴会員の司会により進行され、櫻木 洋一会員が議長を務めた。開会にあたり、三谷支部長より挨拶があり、日頃の支部活動への協力と今後の発展に向けた抱負が述べられた。その後、議事録作成人および議事録署名人が選出され、議事へと移行した。令和7年度の事業報告および会計報告が審議され、いずれも滞りなく承認された。

総会終了後の午後3時30分から午後4時20分まで、三谷支部長を講師として「機能訓練指導員としての認知症の理解」と題した研修会が行われた。研修では、認知症の主な症状やその対応方法、具体的な事例について分かりやすく解説がなされた。また、認知症の方への機能訓練の一環として、予防を目的とした「コグニ体操」を実際に参加者全員で体験した。音楽とリズムに合わせて行う体操は、一見簡単そうに見える初級レベルであっても難しさを感じる場面も多く、認知機能と身体機能を同時に使う重要性を実感する機会となった。

今回の研修を通じ、運動が病気の予防につながることで、そして継続して取り組むことの大切さを改めて認識することができた。今後の臨床や地域活動においても、本研修で得た知識と経験を活かしていきたい。

岡崎

柔道の稽古



岡崎支部広報担当
樋渡 啓祐

5月23日（土）、スカイホール豊田にて愛整会柔道大会に向けた柔道の稽古を行いました。当日は多くの会員が参加され、会場には終始活気があふれ、笑顔と真剣な空気が入り混じる大変充実した時間となりました。普段はそれぞれの現場で活動しておりますが、このように仲間が集まり共に汗を流すことで、改めて人と人との繋がりの大切さを実感することができました。



柔道は、私たち柔道整復師にとって技術や知識の原点であり、礼儀や感謝の心、相手を敬う姿勢を学ぶ大切な場でもあります。稽古を通じて、基本の大切さや、相手がいるからこそ自分自身も成長できるという柔道の精神を改めて感じる事ができました。また、先輩方から技術面だけでなく仕事に対する考え方や心構えについても貴重なお話をいただき、大変学びの多い時間となりました。

日々の業務の中では忙しさに追われることもありますが、このような機会を通じて初心を振り返り、気持ちを引き締めることができましたように思います。今後も仲間との繋がりを大切にしながら、柔道にも仕事にも真摯に向き合い、互いに切磋琢磨しながら成長していきたいと思っております。そして、何よりもケガなく安全に活動を続け、患者様や地域の皆様のお力になれるよう日々精進してまいります。

介護ステーションだより



愛柔整介護ステーション 管理者
平岩 治郎

日ごろは愛柔整介護ステーションに対しご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

私たち居宅介護支援事業所は、「住み慣れた自宅で、安心してその人らしく暮らし続けること」を一番大切にしています。要介護認定を受けたご本人やご家族の不安に寄り添いながら、担当ケアマネジャーが、一つ一つの悩みやご希望を丁寧にお聞きし、心身の状態や生活環境、ご家族の状況を丁寧にアセスメントし、必要なサービスを一緒に考え、その方の生活に合ったケアプラン作りをお手伝いします。

訪問介護や通所介護、福祉用具、医療との連携などをバランスよく組み合わせることで、「無理なく続けられる生活」を目指します。サービス利用開始後も定期的にご自宅を訪問し、

状態の変化に応じてケアプランを見直し、地域の訪問介護事業所や通所事業所、医療機関、地域包括支援センターなどと連携しながら、切れ目のない支援体制を整えていき、サービス担当者会議を通して情報共有を行い、ご本人やご家族の思いが支援に反映されるよう調整します。入退院時の支援や在宅看取りに向けた支援など、状態が大きく変化する場面でも、関係機関と協力しながら安心して過ごせるようサポートします。

介護はご本人だけでなく、ご家族にとっても大きな負担や不安を伴います。私たちは、ご家族からの相談にも丁寧に耳を傾け、介護方法の工夫やサービスの使い方、今後の見通しなどをわかりやすくお伝えします。「一人で抱え込まなくてよかった」と感じていただけるよう、身近な相談窓口として寄り添います。

介護保険の申請手続きや更新、サービス利用の相談などもお受けしています。「介護が必要かどうか分からない」「どこに相談してよいか迷っている」という段階からでも大丈夫です。

これからも先生方のお手伝いをさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。

介護予防ステーションだより

愛整介護予防ステーションの現状



介護部長
倉橋 健司

名古屋市の短期集中予防型訪問サービス（訪問型C）の現状は、全利用者数（5月末迄の1年7か月で）86名です。まだまだ少な

いと思います。いろいろな問題はあると思いますが、全12回行って利用者さんに「良かった」と言ってもらえるようにしないと次につながりません。

また通所型と比べ、（通所型は送迎を行わないとなかなか来てもらえない）送り迎えで2往復するよりは訪問型のほうが行いやすいと思います。もし接骨院の患者さんやお知り合いの方で体操に興味がある方がいましたら声をかけてみてください。私のもとには名古屋市が作成したパンフレットのPDFデータがありますので本会にメールを送っていただければ返信メールに添付させていただきます。

他には、ケアマネジャーさんの認知度も

低く、制度自体が浸透していないことも問題ではないかと考えています。お知り合いのケアマネージャーさんにもチラシを配ってみてください。

現在は名古屋市と知多市（各市ごとに委託契約）ですが、来年4月からは春日井市（介護保険を利用）も加わる予定です。それぞれの市町村により方法が違うので、チラシは名古屋市のものしかありませんが訪問型が何とか広がってほしいと願っています。

また、名古屋市の場合ですが、利用者さんの介護区分が事業対象者から要支援1や要支援2へと変更になった場合はもう一度訪問型ができますので是非私の方まで相談してください。ただし利用者さんが要介護になった場合は我々の行っている予防型事業は行えなくなりますので終了となります。

最後になりますが、利用者さんによっても希望や要望が違いますので1回で終わることもあります。めげずに挑戦してください。

協同組合



副理事長
櫻木 哲也

組合員の皆様、日頃は愛知県柔道整復師協同組合の活動に多大なるご理解、ご協力を賜り誠に有難うございます。

5月27日（水）午後1時30分より愛整会館3階講堂にて第30回通常総代会を開催いたしました。天野 敦之理事が司会進行を、大口 明良理事が議長を務め、当日出席16名、書面出席51名、計67名の出席を得て、第1号議案「第30期事業報告及び決算関係書類承認の件」、第2号議案「第31期事業計画及び収支予算承認の件」とも賛成多数で可決承認されましたことをご報告申し上げます。ただ、第30期は賛助収入22,000円の減少、紹介手数料25,328円の減少、集金事務手数料403,147円の減少となり協同組合設立後、初の赤字収支となり、誠に申し訳ございませんが利用分量配当は0となりました。来期は経費の削減、指定業者様との協力により収入を

増やし、各イベントや勉強会を再開させ、利用分量配当を組合員の皆様に配分できます様努めてまいります。

本組合は、先人のご尽力により平成8年5月16日に設立され組合員の資格は、①柔道整復師法第3条の免許を受けて柔道整復業を行う事業者、②組合の地区内に施術所を有することの2項目、出資金は1口1,000円である。

事業の内容は、①組合員の取り扱う医療機器、衛生材料等の共同購買、②組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供、③組合員の福利厚生に関する事業、④前各号の付帯する事業と定めております。

同業者及び類似業者との競争激化に伴う患者数の減少の一方で人件費や医療設備、衛生材料の高騰により個々の経営は非常に厳しくなっております。この時代だからこそ、協同組合をご利用いただき還元させていただければと考えております。また、何かご要望等ございましたら、何なりと各地区の総代会役員にお申し付けください。

お願いばかりで申し訳ありませんが、今後ともご協力、ご支援よろしくお願いいたします。

編集後記

愛整広報第90刊を無事発行することができました。今号も室谷 勉部員、山守 貴英部員の協力を得て、編集作業を乗り切ることができました。会員の皆様、ご理解ご協力のおかげでございます。広報部の所でも書きましたが、「広報愛整」が創刊（年2回発行）されたのは、昭和56年10月。「会報」発行から13年を経て、第1刊（通刊41号）が発行されました。私は、平成29年7月・第72刊（通刊112号）から広報部員として関わり始め今に至っています。

愛整広報は、多くの愛整会員の投稿によって成り立っていますので、各支部広報担当者の協力も欠かせません。この場を借りまして、お礼を申し上げます。

次号第91刊にも多くの投稿をよろしくお願いします。



岡田 忠士

今号90刊も無事発刊できましたこと、まずもって本会会員の皆様のおかげと広報部一同感謝の念でいっばいでございます。

中東情勢含め、日々変化する社会情勢や医療環境のなかで、我々柔道整復師が果たすべき役割をしっかりと考えつつ、新しい時代に即応していかなばなりません。

そして療養費改訂も行われました。厳しい環境ではありますが、本会理事がいつも仰るとおり、大好きな柔道整復師の伝統ある技術を継承して、頑張りたいと思います。それには皆様からの情報も不可欠であります。今後とも本誌へのご意見、ご感想をお待ちしております。



室谷 勉

会員の皆様におかれましては日頃より広報部活動に格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、医療や介護を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、我々柔道整復師に求められる役割も多様化しています。今月には療養費改訂も行われました。このような変革期だからこそ、本誌が会員相互の強固な情報共有と、緊密な連携を支える架け橋となれるよう、今後も有益な紙面づくりに努めてまいります。

時節柄、先生方におかれましてはどうぞご自愛のうえ、健やかに地域医療を支えられますよう祈念いたし、今号の結びといたします。



山守 貴英

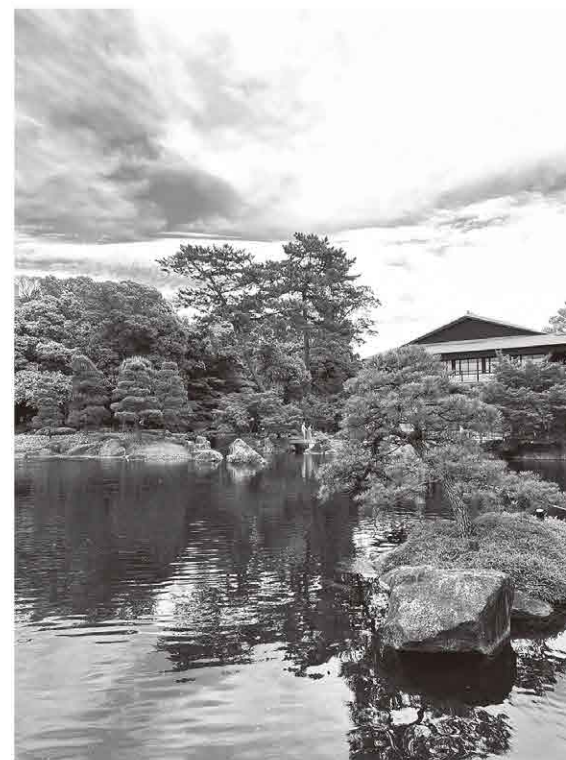
第91刊の原稿募集

1. 内 容 論説、時評、文化、学術、短歌、俳句、ふれあい、支部だより等
また、記事に関連する写真がありましたら添付してください。
支部名・お名前を必ずお書きください。
ご本人の顔写真は必ず添付してください。
2. 締切日 2026年11月20日(金)
3. 送り先 〒460-0022 名古屋市中区金山5丁目13番22号
公益社団法人 愛知県柔道整復師会 広報部
愛整広報メールアドレス：kouhou@shadan-aisei.jp

投稿についてお願い

1. 寄稿文の採否、および多少の字句の訂正は広報部にお任せください。
2. 引用文献は、必ず著者名、巻、頁、発行所を明らかにしてください。
3. 原稿は横書きに統一します。
4. 文章の題名、支部名、氏名は、4行使い、本文は5行目から書き始めてください。
5. 句点「。」読点「、」かっこ「（）」は、必ず全角文字を使ってください。
6. 書き始め、段落の始めは1字あけて書いてください。
7. 原稿は読み返して、推敲してください。
8. 医学用語は正しく書いてください。
9. 原稿・写真は、支部担当者へ提出してください。支部担当者が、必ず校正して提出してください。
原則提出していただいた原稿・写真は返却しませんのでコピーを提出してください。
10. 原稿(データ)は、原則として、Windows版またはMac版Microsoft WORDまたはEXCELで作成してください。原稿執筆者の顔写真を必ず提出してください。
11. 1枚の画像の容量は300KB程度とします。
文書内に貼付けた画像は、元の画像ファイルも添付してください。
ただし、表紙に使用する写真は2MB以上で、できるだけプリントしたもの(2L版以上)を添えて提出してください。
12. 投稿した原稿・写真等は、締切日より1ヵ月程度はご自身でも保管しておいてください。

表紙・裏表紙 写真



大曾根支部広報担当
上田 将

徳川園の龍仙湖。海を見立てた水面と湖に浮かぶ松。
徳川園の大曾根の滝。落差6mの3段の滝。上、中、下段の岩の組み方が異なるため、それぞれの水しぶきの表情に変化がある。

※徳川園から、愛整広報の写真掲載の許可をいただいております。



『知立祭り』



刈谷支部広報担当
國領 雄一

知立市で毎年5月に開催され、江戸時代から300年以上続き地域の歴史と文化を感じられ、その文化的価値の高さから国の重要無形民俗文化財指定されています。

発行日 令和8年7月31日

発行者 藤川 和秀

編集者 岡田 忠士・室谷 勉・山守 貴英

印刷所 名古屋市東区古出来1-1-3 有限会社進栄社

TEL 052-722-1515・FAX 052-722-1517



公益社団法人 愛知県柔道整復師会

〒460-0022 名古屋市中区金山5丁目13番22号

TEL (052) 871-2211番

<https://www.shadan-aisei.jp/>